

教科〔美術〕第〔1〕学年		年間指導計画	
		月	学習内容
<p>※ 具体的到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、美術に対する関心を高め、楽しく創造していく力を身に付ける。 ・自然や身近なものを観察し、形や色彩の特徴や美しさなどをとらえ、作品に生かすことができる。 ・対象を見つめ感じ取ったよさや美しさ、想像したことなどを基に主題を発想しすることができる。 ・用途や機能などを考え材料などから発想し、形や色・材料などの構成を工夫しながら、自分らしく豊かな表現の構想を練ることができる。 ・意図に応じた材料や用具の生かし方などの基礎的技術を身につける。 ・自分の表したい感じを大切にして多様な表現方法を工夫し、伝えたい内容を効果的に表現し、伝達・交流することが出来る。 ・美術作品や生徒作品など、作者の思いや意図と表現の工夫、多様な表現のよさや美しさなどを感じ取り味わい大切にすることを育てる。 		4	<p>《鑑賞》 感じたことを話し合おう 美術って何だろう</p> <p>《表現》絵・彫 見て描く楽しみ</p>
<p>※ 評価の観点・方法</p> <p>① 美術への関心・意欲・態度：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 → 課題への取り組み方・発表・学習態度・作品・準備物・提出物などで評価します。</p> <p>② 発想や構想の能力：感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。 → 作品・定期テストなどで評価します。</p> <p>③ 創造的な技能：感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身につけ、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。 → 作品・定期テストなどで評価します。</p> <p>④ 鑑賞の能力：感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。 → 授業プリント・レポート・定期テストなどで評価します。</p>		5	<p>《表現》デ・工 絵文字がしゃべり出す</p>
<p>※ 使用教材</p> <p>教科書 美術1「美術への扉」(光村図書) 資料集 (浜島書店), レタリング字典 (秀学社)</p>		6	
<p>※ 学習上の注意・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物の提出期限は必ずまもる。 ・準備や後片付けをきちんとやる。(忘れ物をしない。) ・表現材料や用具・作品を大切にし、丁寧に扱う。 ・自分の表現の構想を練るために、資料を数多く活用する。自分で収集する。 ・自分の作品を大切にし、ねばり強く、集中して制作に取り組む。 ・常に見通しをもって計画的に作業し、予定どおりに作品を完成できるように努力する。 ・作品を上手く・早く仕上げることよりも、いかに強い追求心を持ち、試行錯誤しながら、個性的に考え発想し、技能を工夫して発揮したか。また、何に気付き発見し、失敗などの問題をいかに工夫して解決したか等を大切に取り組む。 		7	
		9	<p>《鑑賞》 自然と人と</p>
		10	<p>《表現》絵・彫 形を丸ごと感じてみよう</p>
		11	<p>(前期テスト)</p>
		12	<p>《表現》デ・工 木のぬくもりと暮らす</p>
		1	<p>《鑑賞》 アジアをつなぐ仮面の舞</p>
<p>※ 家庭学習の仕方</p> <p>普段から様々な作品に接する機会をつくる。美術館・様々なメディア(写真・雑誌・本・テレビ・ビデオなど)・映画…、いろんな美術(芸術)に接する機会をもつこと。そして、自分の感性を豊かにしてほしい。</p>		2	<p>《表現》デ・工 文様、飾りの小宇宙</p>
		3	<p>(後期テスト)</p> <p>《表現》絵・彫 その人らしさをとらえる</p>